

2024（令和6）年度事業計画

公益財団法人 三菱経済研究所

1. 経済研究部門

（1）内外経済・産業情勢の現状と展望に関する分析

内外経済・産業情勢の現状と展望に関するタイムリーかつ的確な分析を行い、その成果を月刊誌「経済の進路」、英文誌「Monthly Circular」に反映させると共に、適宜誌面を見直すことで、一層の内容充実を期す。

（2）経済の基礎研究を通じた学術分野への貢献

経済学の様々な領域を対象に、理論、実証、政策各分野における研究テーマの発掘に努め、様々な学術的研究に注力、その成果を経済研究書として広く社会に還元する（24年度からは紙媒体での発行を取り止め、刊行時に無償で全ページをJ-STAGEに掲載）。

2. 史料部門

（1）三菱関係史料の収集、整理、保存、及び閲覧の供与

三菱グループ各社などからの史料を第2次大戦後の史料を含めて積極的に収集し、史料の整理と書誌データの充実を図り、適正な環境下で保存することで貴重な史料の散逸や棄損を防ぐと共に、所蔵史料の閲覧を供与し、広く研究に役立てる。

また、保存史料のデジタル化を継続して実施し、史料の保存性向上と閲覧の効率化を推進する。

（2）所蔵史料を活用した調査、研究、及び成果の発表

三菱、及び日本の産業発展史の調査、研究体制を維持し、その成果を「三菱史料館論集」（2025年3月第26号）として発表（紙媒体での発行に加え、23年度より無償で全ページをJ-STAGEに掲載）する他、関連刊行物の整備なども進めることで、学術振興を図る。

（3）三菱史料館の運営

所蔵史料の収集や、調査、研究などの成果を採り入れながら、解説書の作成整備、見学会や研修の実施などを通じて、三菱史料館の幅広い利用に資する運営を行う。

以上